

第14回艇庫移転会議議事録

(文責：名大OB 藪谷智規、名大現役 夏目)

日時：平成11年10月25日(月)15:00～16:30

場所：名古屋大学大学院工学研究科地圏環境工学専攻9号館226号室(第2ゼミ室)

出席者

名大ヨット部長	林 良嗣	愛学監督	野澤 淳二
愛工大学生課	上田 英貴	愛教大学生課	田村 智
名院大学生課	山本 孝幸	名工大学生課	三浦 聖治
名大学務課長	中村 直規	名大学務課課長補佐	宮地 稔
名大学務課	加藤 貞夫	南山大厚生係長	河村 裕之
名大OB	小池 伸	名城大学生課長	石神 栄蔵
南山大ヨット部長	阪本 俊生	名城大監督	長尾 好泰
愛大副将	神道 大	愛学大主将	横枕 寛
愛工大主将	坂井 正和	名学大主将	小野 豊一
南山大主将	今氏 博文	名大	山沢 洋一
名大	小林	名城大主将	原田 剛

資料1...鬼崎と蒲郡とでの条件の比較。(『ヨット艇庫移転用地の比較について』)

資料2...『蒲郡市有地のヨット艇庫としての借用について』

資料説明。

・資料2について

借地確定は4校。(名大、名工大、名古屋学院大、南山大)

名古屋学院大は借用180平米の艇庫兼合宿所。床面積65平米。中2階。

・資料1について(資料1参照)

・年間使用料は常滑新港の方が高い。(蒲郡の年間借地料 27万円)

・レスキュー艇停泊料は海陽がかなり高い。(約17万円/年)

名大の学生の場合、常滑からレース毎の海陽への遠征費、宿泊費等で、年間約50万円の負担を強いられている。(全額ヨット部負担。若干の体育会の援助有り。)蒲郡移転時にはこれら遠征諸費用分をレスキュー艇係留代にあてることが可能ともいえる。

移転意志の確認。

・名大...土地借用を強く希望。文部省の確約がまだ得られしていない。蒲郡市側は7大

学の移転を希望。11月中には蒲郡市の承諾を受け建設予算を文部省に申請したい。蒲郡市の了解を得るためにも各校の明確な意志が欲しい。

蒲郡市長の交代前に現段階での決定をしたい。(林部長)

- ・名工大...学生は借地希望。大学は未定。予算部局の意思確認が必要で、その調整を行っている。
- ・愛教大...単科大学のため予算化が難しい。移転の必要もなく現行の練習体制でもとくに支障はなく、そのうえ部員減少のため予算部局への申請が困難なため、意思確認に回答できない。
- ・愛知学院大...大学との取り組みを行い、今日の結果を大学当局に報告し、その次第で意思決定したい。
- ・愛工大...艇庫の建設に関しては審議中。今回は見送る。艇庫建設への将来的な展望は今後の課題。

平成14年3月までに常滑は放棄。新港へは移らない。蒲郡への移転はする。

- ・名古屋学院大...借地決定を理事会で決定。ヨット部の存続の危機もあったが、部の希望で、学連として移転するなら借用希望。

建設に関しては他大学に歩調あわせる。(来年も可)

- ・南山大...大学執行部により借用決定。ただし、各大学の足並みがそろうことが前提。予算的にはまだ明確ではない。来年度中に建設したいが、はっきりしない。常滑からは平成14年3月までに移転。
- ・名城大...理事会での決定はまだ。学長としてはヨット部の意思尊重・他大学の意志、海陽の条件を考慮したいとのこと。部としては移転希望。学長はプレハブのような簡易な艇庫のみを検討。この会議の決定を考慮しつつ、今週中に検討。

各大学が意志決定した段階で、お世話になった常滑市に礼を尽くした方がよいので、留意しておいてほしい。

実業団への敷地再分割等を考慮し、早い決定が望ましい。(林部長)

上水道の分担金の説明。(資料1)

上水道の契約の締結に必要。個々の大学単位の契約ならば409、000円と検査手数料が必要。学連介在ならば、大学数で頭割りできる。当然、学連を介して契約した方がよい。上水道に係るその他の経費は個々の大学として必要。

移転状況。

- Q1. 練習海域を蒲郡に移すか?
- Q2. 海陽市有地を借用するか?
- Q3. 鬼崎新港を使用するか?

Q 4 . 鬼崎漁港から引き上げるか？（最終期限平成 1 4 年 3 月）

（YES = 、NO = x、不明 = ?）

	名大	名工大	愛院大	愛工大	名院大	南山大	名城大	愛知大	愛教
Q 1			?				?		
Q 2			?	x			?	x	-
Q 3	x	x	?	x	x	x	?	-	-
Q 4			?				?	-	-